



青森県感染症発生情報 (2017年第49週)

I 第49週の発生動向 (2017/12/4~2017/12/10)

1. 手足口病については、**上十三保健所管内**で**警報**が**解除**されました。県全体の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっており、特に弘前保健所管内では定点当たり報告数が前週の1.11から3.00に増加していますので注意が必要です。
2. **インフルエンザ**については、県全体の定点当たり報告数が前週の1.15から1.74に増加しました。定点当たり報告数は東地方+青森市保健所管内で最も多く、三戸地方+八戸市保健所管内、五所川原保健所管内、上十三保健所管内、むつ保健所管内でも前週より増加しています。
3. **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に五所川原保健所管内で、定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態ですので注意が必要です。
4. **流行性耳下腺炎**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内と上十三保健所管内で定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態が続いていますので注意が必要です。

II 第49週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	46	3.54	14	0.93	29	1.93	11	1.57	9	1.00	4	0.67	113	1.74	38
小児科	RSウイルス感染症	5	0.63	1	0.11	7	0.70	19	3.80			7	1.75	39	0.93	26
	咽頭結膜熱	4	0.50	8	0.89	5	0.50	5	1.00	1	0.17	1	0.25	24	0.57	1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	1.75	20	2.22	24	2.40	19	3.80	6	1.00	1	0.25	84	2.00	-6
	感染性胃腸炎	38	4.75	20	2.22	66	6.60	26	5.20	4	0.67	16	4.00	170	4.05	60
	水痘	3	0.38	8	0.89	3	0.30	2	0.40	2	0.33	1	0.25	19	0.45	1
	手足口病	2	0.25	27	3.00	13	1.30	5	1.00	8	1.33			55	1.31	-7
	伝染性紅斑			2	0.22									2	0.05	-1
	突発性発しん	4	0.50	5	0.56	4	0.40			1	0.17			14	0.33	-1
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	6	0.75	1	0.11	1	0.10							8	0.19	1
流行性耳下腺炎	2	0.25			14	1.40	1	0.20	11	1.83			28	0.67	-13	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	2	1.00											2	0.18	1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	3	3.00	7	1.17	-1
	無菌性髄膜炎															0

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

性器クラミジア感染症 (五類定点把握対象疾患)

性器クラミジア感染症は、クラミジア・トラコマチス (*Chlamydia trachomatis*) という細菌によって引き起こされる性感染症です。日本でも世界的にも最も患者数の多い性感染症です。

男女とも症状が軽いことが特徴で、特に女性は感染を受けても自覚症状に乏しいため、診断治療に至らないことが多く、無自覚のうちにパートナーや出産児へ感染させることがあります。女性の場合、子宮頸管炎と骨盤炎が起きることがあります。全国の傾向と同様、青森県においても29歳以下の女性の患者報告数が男性を上回っています(図)。10代の女性の感染率の高さが将来の不妊につながるとして憂慮されています。

クラミジアは男女間でお互いに感染させるいわゆるピンポン感染があるため、両者の治療を同時に行うことが重要です。感染が疑われる相手との性的交渉を避け、コンドームをきちんと使用すれば感染を防ぐことが可能です。

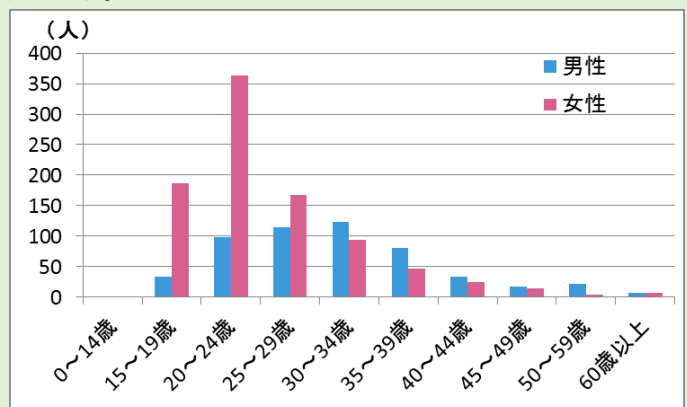


図: 青森県における年齢群別性器クラミジア感染症患者累計報告数(2013年~2017年11月)

○詳しい情報はこちらをご覧ください ⇨ [性器クラミジア感染症とは \(国立感染症研究所\)](http://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/chlamydia-std/392-encyclopedia/423-chlamydia-std-intro.html)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/chlamydia-std/392-encyclopedia/423-chlamydia-std-intro.html>

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前2人、八戸市2人、五所川原1人（2017年計：274人）
- ・薬剤耐性アシネトバクター感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2017年計：1人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2017年第42週～2017年第49週）

- ・第49週の患者報告数は113人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは112人【A型：83人、B型：29人】でした。

保健所管内別報告数（人）

週	42	43	44	45	46	47	48	49
保健所名								
東地方+青森市	15	10	6	3	11	20	35	46
弘前			1	6	23	19	22	14
三戸地方+八戸市	1		2	3	5	4	8	29
五所川原						1	5	11
上十三			1	3		2	5	9
むつ								4
合計	16	10	10	15	39	46	75	113

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

週	42	43	44	45	46	47	48	49
保健所名								
東地方+青森市	15	10	6	3	6	19	32	44
弘前			1	6	23	19	18	10
三戸地方+八戸市	1			2	3	1	4	13
五所川原						1	4	7
上十三				3		1	4	5
むつ								4
合計	16	10	7	14	32	41	62	83

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

週	42	43	44	45	46	47	48	49
保健所名								
東地方+青森市								1
弘前							4	4
三戸地方+八戸市			2	1	2	3	4	16
五所川原							1	4
上十三			1			1	1	4
むつ								
合計	0	0	3	1	2	4	10	29

年齢区分別(人)

週	42	43	44	45	46	47	48	49
～5ヶ月								
～11ヶ月	1			1	2			2
1歳	1	2			4	4	5	1
2歳	1				1	1	7	5
3歳	3				2	4	8	4
4歳	1				2	5	4	8
5歳	1			2	3	7	8	11
6歳	1		1		2	6	5	13
7歳	1		1	1	4	5	5	7
8歳		1	2	2	6		3	4
9歳	1	2	1	1	1		5	4
10～14歳	1	2	3	3	3	2	7	18
15～19歳		1			1	1	2	4
20～29歳			1		1		2	2
30～39歳	3			1	1	3	4	4
40～49歳		1			1	5	4	6
50～59歳			1	3	1		3	9
60～69歳	1			1	2	1		6
70～79歳		1			1	2		1
80歳以上					1		3	4

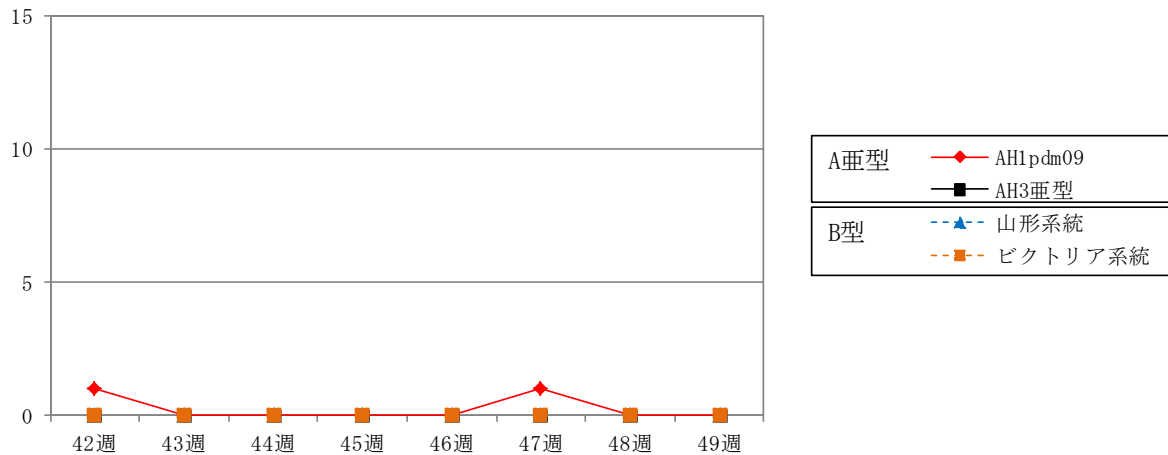
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2017							直近5週間 合計	2017/2018 シーズン 合計	
		42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週			49週
提出検体数		1	0	0	0	0	4	0	0	4	5
検出 状況	A 亜型	AH1pdm09					1			1	2
		AH3亜型								0	0
	B 型	山形系統								0	0
		ビクトリア系統								0	0
合計		1	0	0	0	0	1	0	0	1	2

注1) 2017/2018シーズンは2017年第36週（9/4～9/10）～2018年第35週（8/27～9/2）

注2) 提出検体数に（ ）がある場合は、提出された検体のうち、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2017年第46週～2017年第49週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
46	H29.11.13 ~ H29.11.19	つつが虫病2人 侵袭性肺炎球菌感 染症1人		E型肝炎1人 レジオネラ症1人		水痘(入院例)1人	
47	H29.11.20 ~ H29.11.26	アメーバ赤痢1人 侵袭性インフルエン ザ菌感染症1人					
48	H29.11.27 ~ H29.12.3						
49	H29.12.4 ~ H29.12.10	薬剤耐性アシネト バクター感染症1人					

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2017年第46週～2017年第49週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
46	H29.11.13 ~ H29.11.19	1	1	1			
47	H29.11.20 ~ H29.11.26	2		3			
48	H29.11.27 ~ H29.12.3		2	1	1		
49	H29.12.4 ~ H29.12.10	1	2	2	1		

Ⅹ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第1週～2017年第48週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	20895	7	135	3818	37	13	288	256	25	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	8	1	4	90	2	4	294	236	327	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	2	3	58	19	1	1639	44	978	267	1522

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	621	12	178	510	1263	54	335	23	2869	286

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	5279	122	119	73	85	188	23

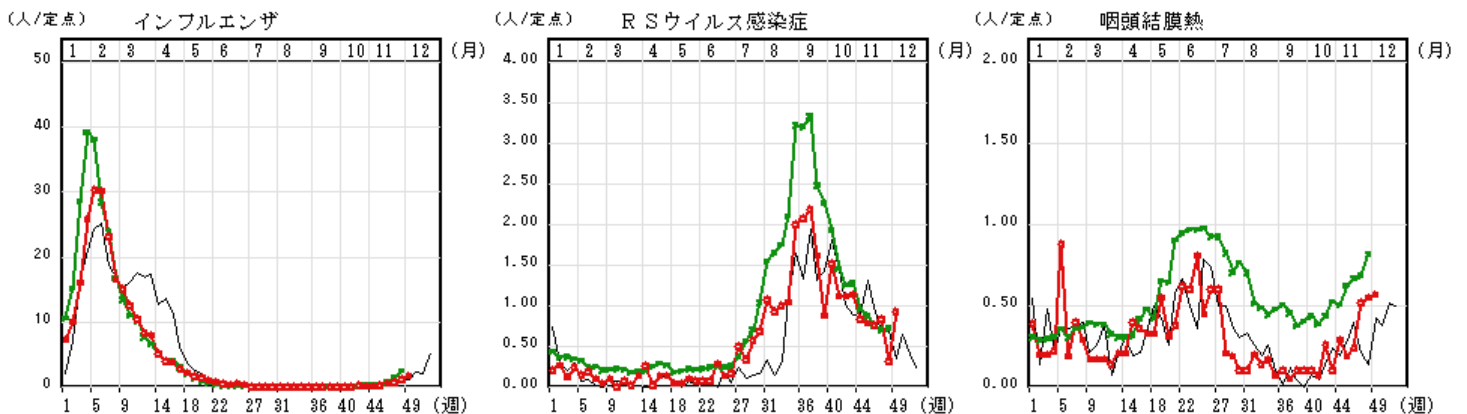
青森県（2017年第1週～2017年第49週までの累計）

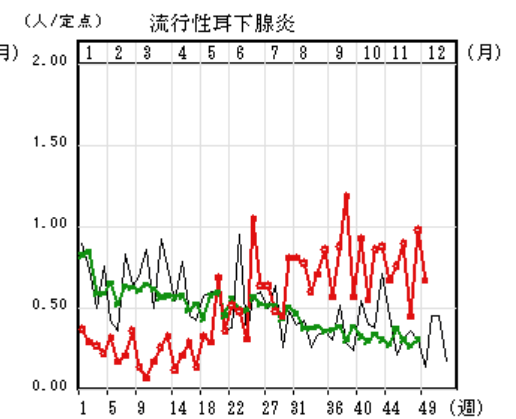
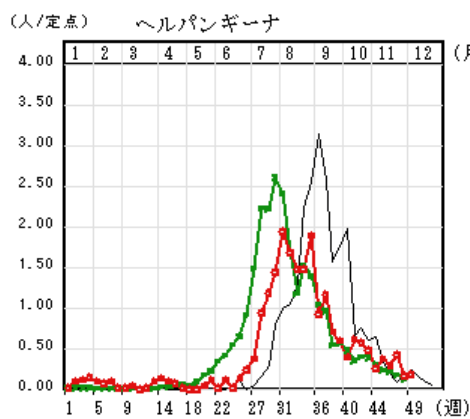
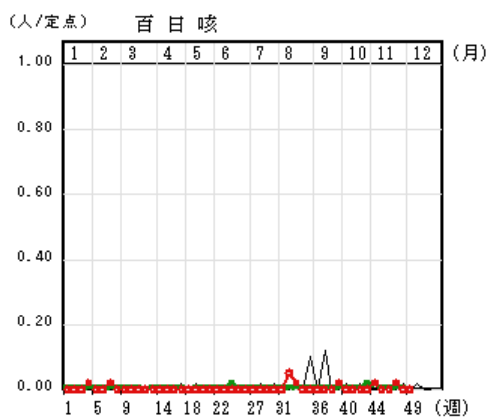
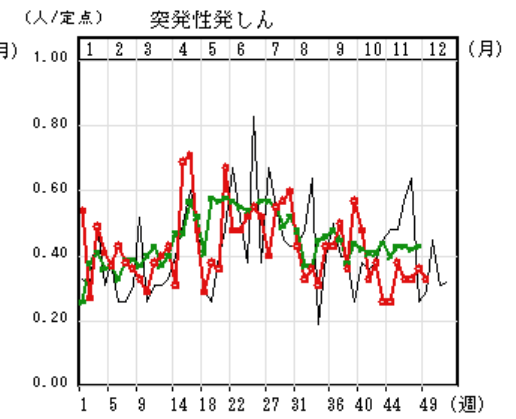
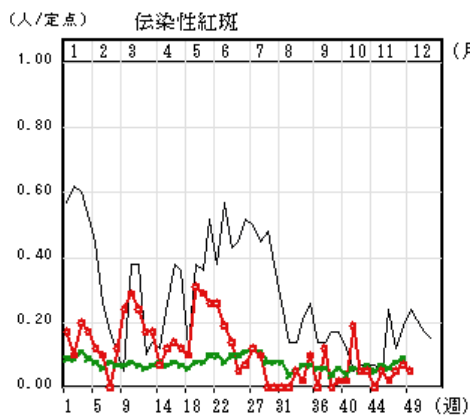
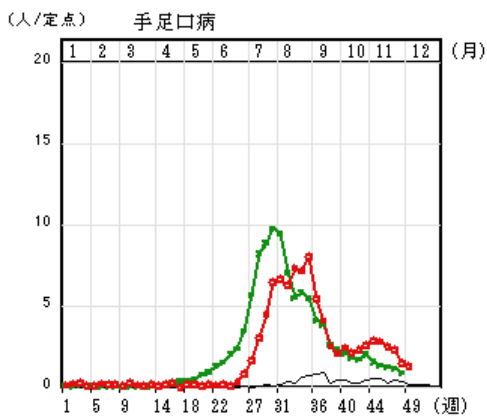
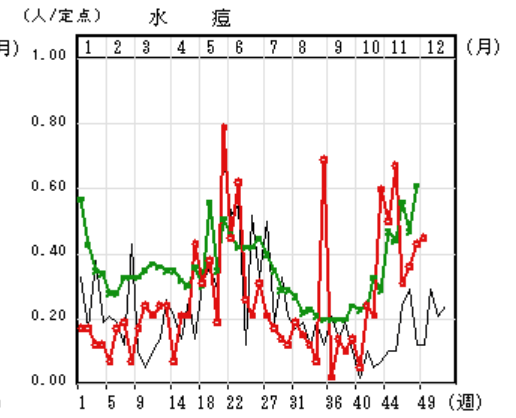
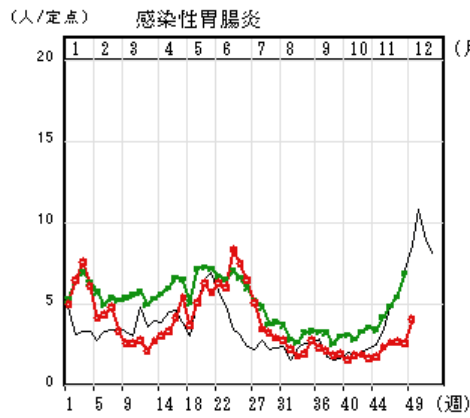
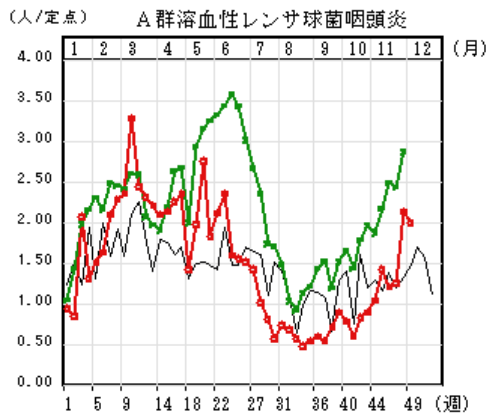
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	274	31	8	2	15	1	10	6	17	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	2	5	2	10	3	58	2	1

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第49週、ただし全国は前週）

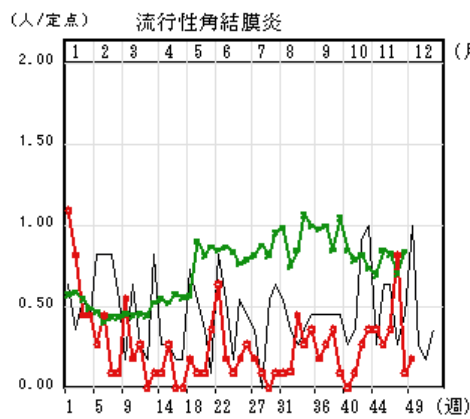
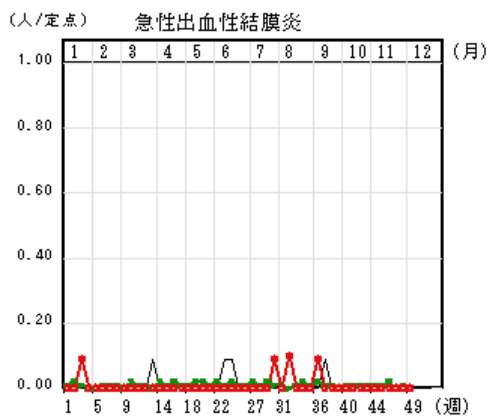
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×——×は2017年全国





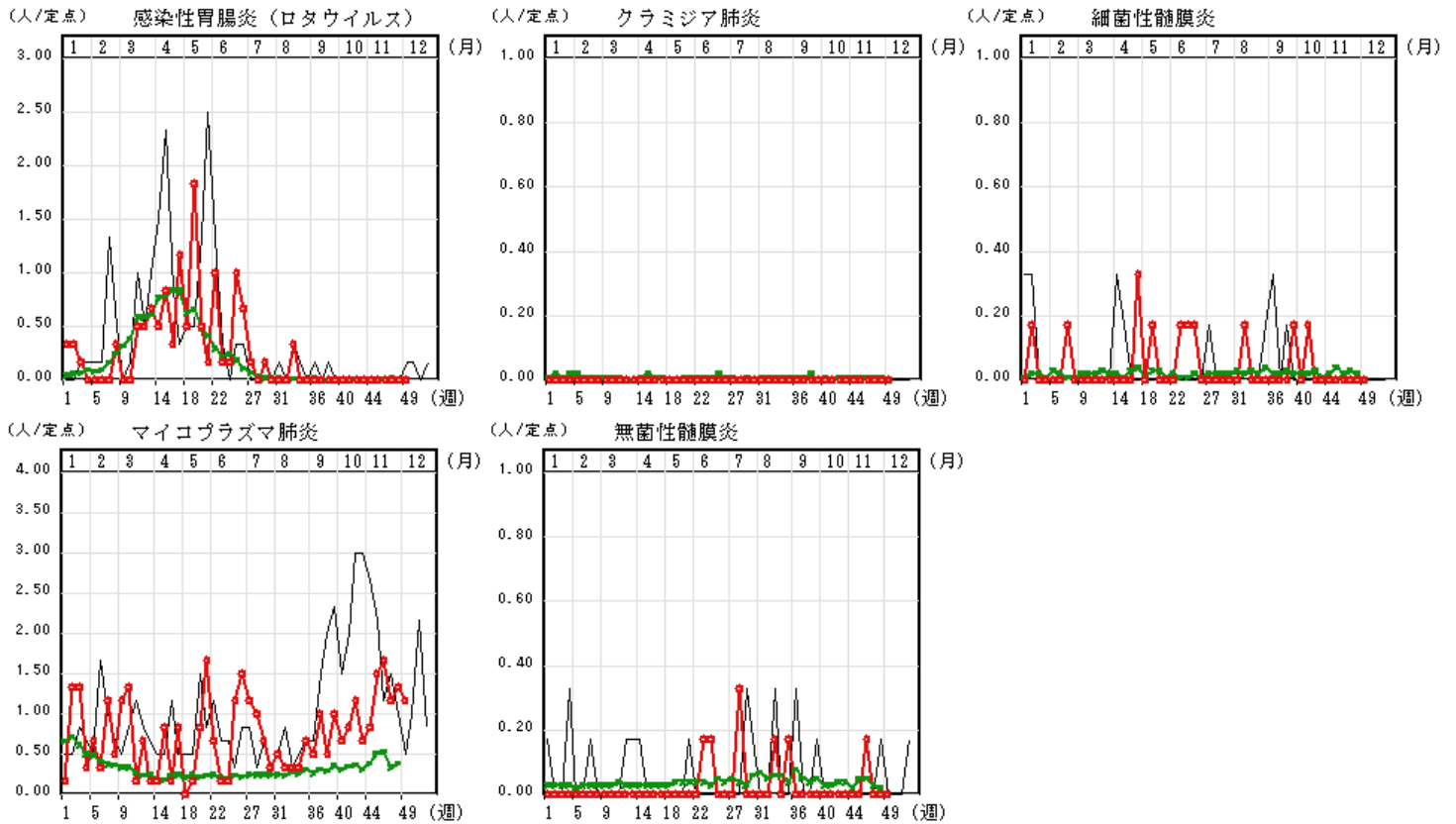
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第49週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第49週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第49週
報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39-43週	44-47週	48週 49週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	8
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	15	0	0	20	154
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	1	0	0	1	11
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	15	0	0	20	247